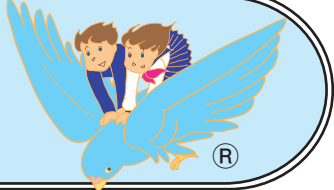


# 君とつばさ



令和7年5月20日  
発行・公益財団法人 交通遺児育英会  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1  
(電話) 03(3556)1789  
(HP) <https://www.kotsuji.com>

©交通遺児育英会

## 修学支援さらに手厚く

### 第6次長期事業計画を決定

交通遺児育英会は3月13日に開いた第42回通常理事会で、今年度から始まる第6次長期事業計画（令和7～11年度）を決定した。今年度は第5次長期事業計画の最終年度にあたるが、全奨学生への一部給付の実現や心塾東京寮の建て替えなど「主要な事業目標は概ね達成した」として、第6次計画を1年前倒しして始動することにした。ヤングケアラー支援など今後も調査・支援検討が必要な事業については、引き続き対応を継続する。第6次計画の推進項目としては、①修学支援事業の拡充②指導・育成・支援③奨学金の返還滞納対策④新奨学金システム⑤知名度向上と寄付金収入の安定・拡大⑥危機対応体制の構築の6項目を掲げた。項目のトップに挙げた修学支援の拡充については、給付（費用補助）の増額や対象拡大、貸与額の引き上げなどを検討。対応可能と判断した施策から実行する。②に関しては、昨年実施した「ヤングケアラーアンケート」を継続して実態を把握。奨学生等の実情に応じて必要なサポートにつなぐ仕組みを整える。同時に、支援金の給付などヤングケアラー支援のあり方も探る。現役奨学生に対する支援強化とのバランスを取る観点から、元奨学生に減らして返還時の負担軽減について検討を進める。さらに、2014、2021年に続いて3回目となる「交通遺児家庭の生活実態調査」を行い、要望などを精査してさらなる修学支援に役立てる。③については、電話による督促、現地訪問を継続・強化し、滞納解消を図り、④では新システムを導入によって業務の合理化、効率化を進める方針を打ち出した。⑤では、大学などのオンラインキャンパスならい、高校生を対象に心塾東京寮の入寮体験日を設定。宿泊や在塾生との交流の場を設けるなどして、寮生活を実際に体験してもらう取り組みを進める。また従来の募金箱に替わる手段として、デジタルポイントによる寄付の促進を図る。若年層へのアピールを兼ねたアプリの開発も検討する。⑥では、首都直下型など大地震被害を想定したBCP（事業継続計画）を策定。心塾東京寮（東京都日野市）に設置したバックアップサーバーにより、主要業務の継続を図る。被災時を想定した訓練も行う予定。（2面に令和7年度の主事業計画を掲載）

## 春爛漫 心塾入塾式

東京・関西 新入生23人入塾



交通遺児育英会が運営する学生寮「心塾」の令和7年度入塾式が4月、東京寮（東京都日野市）と大阪市内であり、23人（東京14人、関西9人）が新たに加わった。両会場では石橋健一会長、土肥寿員理事長、心塾塾長を務める大屋克文専務理事が祝辞を述べ、育英会のさまざまな補助や支援制度を活用しながら、有意義な学生生活を送るようアドバイスした。東京寮では恒例行事の記念植樹が行われ、写真、新入生が交代でシャベルを持ち、ミツバツツジの苗木を植えた。（3面に関連記事）

# リベラルアーツが大切です

## 昨年度 無料出張講演に2500人

開催回数・人数とも大幅増 オンライン視聴も

交通遺児育英会が全国の企業・各種団体、警察、学校などで開いている無料出張講演の受講者が2024（令和6）年度の1年間2500人に上り、前年度（1413人）から約8割増となった。V Dによる講演が現在の主流になっている。開催規模は50～70人程度が大半を占める一方、500人超の大規模開催もあった。また、企業・団体によっては、オンラインによる同時視聴が可能な会場もあるため、実際の聴講者はさらに多い。無料出張講演の受講者は14年度の開講以来、延べ7227人となった。

皆さん進学、進級おめでとうございます。当会奨学制度がカバーしている全体を見ますと、進学は中学から高校、高校から大学、大学から大学院とありますし、当然進級についても高校、大学、大学院での進級があります。皆さんそれぞれ心を新たに入学おめでとう

### 入学おめでとう

交通遺児育英会会長  
石橋 健一



にして、しっかり目標を決めてその達成に力を尽くしてください。

私の場合、大学受験の時、父親が60歳でしたから、浪人しないように必死でしたし、大学に入ってから留年しないように必死で、なんとかそれでは済みました。だが、その

学生生活の中心はといえば、部活とバイトはよくやりまして、勉強に関してはとてもしっかりやっていたと言えるようなものではなかったと反省しきります。このような反面教師からのアドバイスになりますが、皆さん方には後に悔いを残さぬように、あなたをこへ送り出してくれた方への感謝を忘れず、しっかり勉強していただきたい。

この勉強ですが、専門課程で専門知識を習得することが大切なのは当然のことなのですが、私がもう一つ大事だと思うのはリベラルアーツを身につけることです。リベラルアーツについてウィキペディア（インターネット上のフリー百科事典）には、「実用的な目的から離れた純粋な教養や一般教養」、あるいは「人文学・芸術・自然科学・社会科学などの分野の基礎知識を横断的に学ぶプログラム」であり、もう少し具体的に次のような説明もあります。

教養は幅広く多くの本を読むこと、同じく幅広く良き友人、先輩、先生と付き合うことでより深く深くなるものです。本には限りがありませんから、限りなく教養を引き出すことができるといってもいい、人付き合いについても同じことが言えます。

皆さんそれぞれ、多くの本を読み、多くの人と交流すること、教養を高め、幅広く寛大な人格の形成に努められますよう期待しています。

知識の汎用性：キャンパス内外での経験を統合し、授業



緑が川面にひととき濃く映える初夏。釣り好きの知人に誘われ、鰯の「友釣り」に挑戦したことがある。縄張りに入るとオトリの鮎を追いかける。川に入ると緩やかに流れた流れは意外に速く、竿を操る腕が石を抱えるように重い。釣果は1匹だけだった。知人によると、初心者にありがちな、あちこち場所を変えたり、竿を振り回すのは法度。オトリを弱らせるだけ、と。水面下での戦いを思い浮かべてじっと待つべしと教わった。この春、就職・進学した皆さんは新しい環境に慣れた頃だろうか。早々に辞めてしまふと聞く。人生いろいろ、とは言うけれど、特段の事情がなければ「待つ」ことも選択肢に入れているのか。会社でも学校でも、経験したのはいまだほんの「さわり」ではない。▼万有引力を発見したニュートンは言う。「私が価値ある発見をしたのであれば、才能ではなく忍耐強く注意を払ったおかげ」。辛抱の積み重ねが歴史を塗り替えた。偉人と並べては長い多いが、先の知人いわく「鮎との我慢比べに勝った」感覚こそ無上の喜びとか。同期、先輩、上司……胸を借りる相手に不足はないはず。跳ね返されてもまたぶつかると。それも新人の特権だ。



# 令和7年度事業計画を決定

## 資格取得、外国語検定、大学受験料など支援拡大

第6次長期事業計画の初年度にあたる令和7年度は、各種資格の費用補助、語学検定試験の対象拡大、大学等受験料の補助増額など、かねて保護者から根強い要望があった施策が実現することになった。今後も補助対象の資格や検定などについては適宜、支援の拡充を進める。また、奨学生が家族の介護を担う「ヤングケアラー」についてもアンケート調査を継続し、支援体制の整備につなげる方針。

### 【事業計画の概要】

◇奨学生の採用  
新規・継続を合わせて高校（高専を含む）296人、大学（短大を含む）481人、大学院28人、専修学校97人、各種学校2人―計904人と、

◇奨学金の返還  
今年度も物価高の影響が予想されるため、返還猶予・返還免除制度の周知を進め、生活困窮者の救済を念頭に柔軟な対応を心がける。物価高に加え、返還免除に関する運用細則の改定による免除額の増加を考慮し、今年度の返還見込み額は8億4000万円と、前年度を7600万円ほど下回る見通し。

◇支援の拡大（各種資格取得補助、外国語等検定試験補助、大学等受験料補助額引き上げ）  
就職に有利といわれる19の資格試験費用を全額補助する。また昨年度から始まった英検受験料補助制度に英語以外の7言語

講演や警察との連携活動などを通じて引き続き認知度の向上を図る。

### 7年度予算

12億600万円

保護者対象の「語らいカフェ」は、これまで未開催の地域を中心に5回開催。高校奨学生対象の海外語学研修は前回同様、27人を米国へ派遣する。

### ◇事業資金の強化

一般寄付、遺贈を合わせて前年度並みの8億5000万円の寄付収入を見込む。遺贈の受け入れに必要となる修学支援士事務所等への働きかけ

### ◇広報活動

ホームページ、SNS、広報紙「君とつばさ」を通じて、情報発信を努める。当会の存在を知らなかったために必要な修学支援が受けられないという事態を防ぐため、無料出張

## シャトル追いかけて歓声

心塾東京寮  
バドミントン大会



心塾東京寮（東京都日野市）で3月、塾生有志によるバドミントン大会が開かれた。昨春完成したばかりの、まだ新しさを残すイベントホールは体育館のような広さ。シャトルを追いかけて、スマッシュが決まる度、塾生から歓声が上っていた。

人に教えることで相手も自分も成長  
全力で教員目指す

3年 中谷雄大  
2年生の1年間は、後悔のない1年を過ごしたと思います。

（通信制の）学校行事で一番の思い出は修学旅行でした。初めて一人で東京へ行き、そこから近県にある本校へ行きまし

た。初めて会う人がたくさんいて緊張しました。ホテルでは、全員が初対面で3日も過ごせるのかなど不安になりました。でも、食事やお風呂などで話をしたりして仲が深まり、寝る前に大奮発をして笑い合いました。今でもずっと覚えています。

住んでいる県が離れていて、もう会えないのか

### 野球部「最後の夏」

「人間力」を磨いて  
亡き友と甲子園へ

3年 Y・H  
この1年間の学校生活を振り返ると、野球部の部活動で3年生が引退し、自分たちに代わりし

た。そして冬の練習も終わった今、自分たちの部活の期間も残すところ数か月となっています。この期間はこれまでの野球人生で最も濃く、大切な時間にしたと思っています。そのため、朝は早出をしてバッティングを磨いています。最後の夏の大会で後悔がない

など悲しかったですが、学校生活で一番の思い出となりました。後悔のないようにたくさん話し、笑い、全力で楽しんでよかったと心から思っています。

将来の夢についても、自分はこれになりたい、という職業が見つかりました。僕は教員になることを決意しました。インターネット上で人に勉強を教えたりして、「点数が上がった」と嬉しそうにしている姿を見て、教えてよかったと思ったり、感謝されることが自分にとっても嬉しかったし、（教えることが）好きと

思えたからです。自分は自己評価が低く、自分を好きではありませんでした。でも、他人に教えるにつれ自分も相手も一緒に成長できる、頼ってもらえるという気持ち

がたがた湧きました。その気持ちから、自分には必要のない人になりた

いと思いません。ただの承認欲求でも、教員を目指すと思うことに自分自身に感謝しています。

ディサービスでも勉強を教える先生から褒められ、やっていてよかったと、教員になることをあきらめたくない気持ちは以前より強くなりました。

大学受験では教育学部を目指しています。全力で勉強に励み、合格を勝ち取ってみたいです。夢に向かって頑張っていきたいと思います。

（大阪府）



## 声

今年初め、同級生のチームメイトが闘病の末天国に旅立ちました。彼とはとても仲が良く、休みの日には一緒に甘いものやごはんを食べに行ったり、よく一緒にいました。野球がしたくてもできなかった、ユニホームが着たくても着ることができなかった、あいつと一緒に甲子園に行きたいです。甲子園で笑顔で野球をする自分たちを見てほしいです。

今はそのために毎日、グラウンドで大声で練習をしています。野球部七十八日目になる自分たちは必ず甲子園に行きます。

（福岡県）

## 出張講演を聴いて

交通事故被害者家族の「苦しみと後悔」を強く感じた。「自分たちと同じ思いをさせたくない」と、毅然とお話しされる姿に感銘を受けた。

◇  
本来はあったはずの幸せが与えられない理不尽さ、無念さが伝わった。交通事故で最も影響を受けているのは子どもなのだろうと感じた。

◇  
教習を通じて、誰もが事故の当事者になり得ることを教習生に伝えて、より安全運転に対する意識を持ってもらえるよう努めたいと思う。

◇  
「自分は辛いの」に周囲はいつも通りの日常」。想像するとても苦しかっただろうなと思いました。交通事故は、どこか「自分には関係ない」「大丈夫」と思ってしまうところがあるので、誰にでも起こり

（交通事故で突然なくなった方との）日ごろの挨拶やコミュニケーションがいかにか大事なのか、痛感しました。明日、急に大切な人を失うことがあっても後悔しないためにはどうすればいいの。自分の中ではまだ正解が見つかりません。

◇  
いつ自分が加害者になってしまうか分からないと思うと、ハンドルを握る仕事が怖く感じた。

◇  
慣れた道を安全運転を心がけた。い。（株式会社ゆだ岡山営業所・広島営業所様のアンケートより）

## 講演の申し込みを受け付けています

交通遺児育英会ではDVD等による全国無料出張講演の申し込みを受け付けています。申し込み、内容に関する詳細は当会ホームページ（<https://www.kotsuiji.com/>）、または電話（03・3556・1789）にてお問い合わせください。

得ること、と再認識させられた。

◇  
「なんでもない日常」が特別なことなんだと教えられました。

◇  
交通安全に関わる者として、「事故のその後」のことまで考えるよ

きつけになりました。

◇  
「慣れ」の恐ろしさを改めて感じました。

◇  
教習所職員全員が体験談を共有することは、大変有意義と感じました。

◇  
悲惨な事故を減らすのが私たちの使命である、と身の引き締まる思いがしました。

◇  
運転免許を取るといことは楽しいことばかりではない、と教習生に伝えていかなければと思う。

（岐阜県指定自動車教習所協会のアンケートより）



# 米国語学研修 高校生27人を決定

## 7月19日からカリフォルニア州で

高校奨学生を対象に、交通遺児育英会が実施する令和7年度海外語学研修の参加者27人が決まった。研修は前回に続いて米カリフォルニア州デメキユラを拠点に行われる。参加者は2人、あるいは1人で現地家庭にホームステイしながら、語学学校で授業を受け、社会見学やアクティビティーなどの課外活動にも参加する。6月に過去の研修参加者、旅行会社添乗員も同席したうえ、都内で出発前の説明会を開く。参加にあたっては、原則として英検3級(他の検定では英検3級相当)の語学力が必要。今回の参加者の中には、幼少期から英会話教室に通い英語に親しんでいた生徒や、石橋健一会長ら役員による質問に答えた。

参加者は「小中学校でALT(外国語指導助手)の外国人教師と話ができたことで英語が好きになった」「大学に進んで外国語を学びたい」「将来国際貢献できる仕事に就きたい」「世界を見て日本との違いを体験して、親にアドバイスされた」など、語学研修に対する考えや将来の希望について話した。

一行は7月19日に東京羽田空港を出発し、8月9日に帰国する予定。

語学研修参加者のみなさん(順不同、敬称略)						
石井 優衣(1年)	東京	川村 酸素(1年)	東京	古瀬香奈絵(2年)	香川	
佐久川政海(2年)	東京	荻田 夏伝(3年)	東京	長谷川大祐(2年)	広島	
安田 光(2年)	東京	小林 秀徳(2年)	東京	朴 健人(1年)	富山	
竹前 燈吹(1年)	長野	今井 獅恩(1年)	東京	武田梨壘愛(2年)	三重	
村田 友妃(2年)	長野	和田 莉桜(1年)	東京	松本 空悟(1年)	和歌山	
岩崎 柊奈(3年)	岩手	本高 ひな(2年)	岐阜	橋本 修汰(1年)	兵庫	
眞柄 蒼甫(2年)	新潟	佐々木果梨(1年)	愛知	藤本 海愛(3年)	京都	
金児 ゆず(2年)	長野	渡邊 大雅(1年)	福岡	酒谷 颯太(3年)	大阪	
大貫 花奈(1年)	栃木	奥正真優有(1年)	広島	大東さくら(1年)	大阪	



昨年の語学授業のようす

# 希望に胸膨らませ

## ～東京・関西 心塾入塾式



【大阪市内で4月12日】



【心塾東京寮で4月5日】

今春、新たに23人の仲間が加わった心塾。東京、関西では在塾生も出席して、それぞれの会場で入塾式が行われた。

当日は、寮生活の基本ルールや各種の補助制度などに関して大屋塾長による説明が行われ、「皆さんの夢をかなえるための制度が揃っている。積極的に利用して、要望があれば聞かせてほしい」などと呼びかけた。また、読書感想文、文章(東京寮のみ)、スピーチ(同)の各講師による講座紹介の時間も設けられた。

式典では、石橋会長が「寮でも学校でも、人と人との交流に努めて成長してほしい。加えて、自分の世界を広げる方法の一つとして本を読むことを勧めたい」と挨拶。

「本は限りなく広い世界を皆さんに教えてくれる。本を読んで、より広い視野を持った大人になってほしい」と祝辞を述べた。

「写真(東京寮で。土肥理事長も「育英会の職員全員があなた方の応援団です」と強調した。



自己紹介に立った新入生らは「心塾での生活も学校生活も充実させたい」「心塾でも学校でも、アルバイト先でも出会いを大切にして広い視野を持てるようにしたい」などと話し、新しく始まる学生生活に向け、希望に胸を膨らませていた。

東京寮では在塾生代表の石田慶太さんが「寝食を共にすることで信頼関係が少しずつ築かれると思う。困った時は先輩に遠慮なく声をかけて」と新入生を励ました。

## 各界からゲスト講師招へい

### 7年度 心塾東京寮スピーチ講座

心塾東京寮で塾生を対象に開かれているスピーチ講座(佐々木繁範講師)の今年度講座に、6月以降、各界で活躍するゲスト講師3人が招かれる。それぞれの分野の第一人者を迎えて、講座内容の一層の充実を図る。

講座は全4回。初回4月の佐々木講師による講座に続き、元総合格闘家の大山峻護さん(6月25日)、元劇団四季俳優の上田亜希子さん(9月24日)、ダンサー・振付師・演出家の池上直子さん



(文春文庫 770円)

## もう読んだ?

## 夜に星を放つ

窪 美澄 著

切ない別れの5話。コロナ禍でリモートワーク中の綾ちゃん、命の危なさを痛感、子どもを残そうと婚活を始める。一卵性双生児の妹、弓ちゃんが2年前に脳内出血で急死していたからだ。半年後、プログラマーの麻生さんと逢瀬を重ねる。

ある日、電車の中で麻生さんの姿を見かける。そばにきれいな女性が赤ちゃんを抱っこし、麻生さんが泣きやまない赤ちゃんをあやしている。麻生さんにLINEメールで聞いたが、全部が未読のまま。

綾ちゃんにはもう一人、気になる男性がいる。妹の弓ちゃんと同棲していた村瀬君だ。妹の月命日ごとに会食を続けている。

電車で女性と赤ちゃんを伴った麻生さんを見かけてしまったその夜、飲めない

井谷 昌喜 心塾東京寮読書感想文講師

酒を飲んで、妹の生活の跡が残る村瀬君の部屋を訪れ、妹のことは忘れ、新たな恋をするよう迫る(「真夜中のアポカド」から)。

おすおす手を伸ばすが、相手の心に届かないものどかしさ。

ほかに、いじめで教室に行けず保健室登校を続ける女子中学生、不倫の妻との離婚で、妻とともにアメリカに移り住んだ愛娘とコンピュター画面での会話を心待ちにする男性会社員、両親が離婚して新しい母が赤ちゃんを産むが育児ノイローゼになり、別居している実の母を恋しがる小学4年生の男の子など、その境遇はまちまちだが、それぞれが喪失感を抱えている。相手の手の温もりを感じ、その絆を離すまいと、そして明日をよりよく生きようと心に決める主人公たち。

読む者の心に、ほのかな希望の明かりが灯る。第167回直木賞受賞作。

## 心塾関西寮 演劇鑑賞会

## 劇団四季「WICKED」に感動



心塾関西寮の演劇鑑賞会が3月22日にあり、関西寮の塾生5人が劇団四季のミュージカル「WICKED(ウィキッド)」を鑑賞した=写真。鑑賞会は東京・関西心塾の恒例行事。昨秋は東京寮の塾生が同劇団の「アラジン」を鑑賞した。



# 教養身につけ還元したい感謝の気持ち

## はつらつ

ふじたな  
藤田 渚央さん

茨城高校国際教養コース3年

昨年、約半年に及ぶニュージーランド(NZ)での留学生生活を終え、帰国した。

グローバル人材の育成を掲げ、長期留学をカリキュラムに組み込んだ国際教養コースに学ぶ藤田渚央さん(17)。「幼稚園の頃から英語教室に通っていた」というほど、英語は身近な存在だった。

入学後はネイティブ教師の指導による実用英語をはじめ、相手国の現状や課題、社会、文化など、2年次の留学生生活を見据えて学ぶ日々。ESS(英会話)部では、文化祭でディズニ作品を題材にした英語劇を披露した。さらに英検準1級も取得して迎えた留学生生活は驚きの連続だった。

郊外にある学校で日本人は自分だけ。しかも日本語を使わないよう、共に留学した仲間とは連絡禁止。クラスメイトも数少ない留学生を気遣って話しかけてくれるわけでもなく、自分から積極的にならなければならぬと最低限のコミュニケーションも成り立たない。

何より日本では当たり前前の「空気を読む」という感覚が通じない。「NZは言葉にして伝える文化。どんな自分からしゃべって伝えないと。黙っていると話に割込まれたりして会話が続かない」とはいえ、言いたいことを頭でいったん英訳してしゃべると時間もかかる。英語力には多少自信があったが、最初の2か月ほどは主に聞くだけの状態が続いた。だが耳が慣

れるにつれ、実用英語の授業で鍛えた会話力が役に立つ。反射的に言葉が口について出てくるようになり、会話のスピード、訛りやスラングにもついていけるようになった。

博物館で見た第二次世界大戦の展示にも衝撃を受けた。「日本では一般展示するのを躊躇するような映像とか。(戦勝国である)連合国側の視点で見ると、戦争に対する認識が異なっていて、印象もずいぶん変わります」

ホームステイ先では、英会話のほか現地文化なども教わった。自宅には(生でみから堆肥を作る)コンポストがあり、SDGs(持続可能な開発目標)に対する当事者意識の高さを実感。帰国後、仲間と使い終わった参考書の無償譲渡プロジェクトを自治体として計画を進めている。

「人種も文化もNZは多様な性の国だなあと。一つの物事を、いろんな視点から探究することが大事だと学びました」

現在は留学で身につけた英語力、とりわけリスニング力の維持を心がける。ゲームやネット動画の言語設定を英語にするなど、日常生活に英語を取り入れるようにしている。

「家族や周囲の人に支えてもらって今の自分がある。そんな当たり前の大切さを、私自身が誰よりも知っています。感謝の気持ちを還元できるよう、大学に進んで受験知識にとどまらない教養を身につけたい。そして、将来は語学力を生かした仕事に就きたい」



2歳の時、父(享年36)を亡くした。大手食品会社で社長賞を取るほどの技術者だった父は、母(48)いわく「大胆な人」だったらしい。「そんな父に私はそっくりなんだそうです。決めたら即、行動に移すとか、猪突猛進な性格が似ているみたい」。もっとも父の記憶がほとんどない自分にとって、最も身近で尊敬できる大人は母だ。

「父が亡くなり、一番辛い思いをしたのは母。働きながら一人で私と弟を育て、行きたい学校に行かせてもらった」片道2時間の通学に合わせ、何でお弁当を作ってくれて、何でも相談できる「隠し事なし」の頼れる母。感謝を伝えると、いつも「そんなにできた母じゃないよ」と返ってくるが、人として母のようでありたい、という思いは変わらない。

「自分も母のような母になる」。そう決めている。

## 夢まっしぐら

やべひじり  
矢部 聖さん

京都伝統工芸大学校 伝統工芸学科仏像彫刻専攻2年



訪ねてみたい寺社は熊本県にある上色見熊野座(かみしきみくまのざ)神社。「緑が濃く、いろんな想像をかきたてられます」

— 相当な覚悟ですね。

「大学では『4年もある』でしたが、今は『4年しかない』。遊んでいる時間はなく、学べるだけ学んでやろうという気持ちです。休暇中でも登校して自主練習に取り組んでいます。毎日手を動かしていないと、木を彫る感覚を忘れてしまいますから」

— 目標とする、憧れている仏師、彫刻家はいますか。

「現代作家の加藤観山(かとうくわんざん)さんです。表現がとても美しく、人間らしい。惹かれます」

— 学び直しを選んだ今、進路に迷っている後輩に伝えたいことはありますか。

「やりたいことをやる、進みたい道に進むのがいいと思います。やりたくないことを続けているのは、人生の目的を見失ってしまうようで」

グ ラフィックデザイナーの父(享年30)が亡くなったのは3歳の時。母(50)もパタンナーとしてファッション界に携わった経験があり、クリエイターのDNAは両親譲りかもしれない。

著名な寺社が集中する京都出身。歴史的な作品に触れるため、関西圏をはじめ各地に足を延ばす。思い出深い作品は東京・根津美術館で見た鎌倉時代の仏師、定慶による「帝釈天立像」。間近に見たその表情と迫力に圧倒された。

「いつか自分も寺社に奉納できるレベルの作品を作りたい。格式ある『京仏師』を名乗りたいです」

大学を卒業後、仏師を志して専門学校での学び直しを決めた矢部聖さん(23)。大学時代には複数の内定先を得ながら、「本当はその仕事やりたのか」を自問自答。もともと興味のあった美術・創作の世界に飛び込んだ。

— 大学を出てからの学び直しですね。

天 学時代は保育士を目指す傍ら、就職活動で複数社から内定をいただき、そのまま就職しようかと考えたこともありましたが、仏像彫刻を選んだのは、(就職先は)本当にやりたいことなのかどうかを考え、仏

師になる道を選びました」  
— 仏像彫刻、日本美術にもともと興味があった？  
「中学では美術部で、美術には興味がありました。大学に入って本格的に美術館、博物館巡りを始め、今はやはり仏像を中心に鑑賞しています」  
— 今の学校に進んだ決め手は何ですか。  
「オープンキャンパスの実習体験で仏像を彫らせてもらったことです。仏様は皆きれいな顔をされていて、自分の手でそれを表現できることに魅力を感じました。美術が好きで入った学校ですが、仏像彫刻を選んだのは、(就職先は)本当にやりたいことなのかどうかを考え、仏

「1年次は部分的な制作でしたが、2年からは年に1体、全身の作品を完成させることになりました。作品修復の授業もあり、清水寺の収蔵品を修復することもあります」  
— 伝統工芸の職人技ゆえ、授業は厳しいでしょうか？  
「先生と生徒というより、師匠と弟子の感覚ですね。めったにないことですが、作品を褒めてもらえることも嬉しく、自信につながります」  
— 卒業してからも修業が続くのでしょうか？  
「工房に入ってから最低10年は修業して、やっと初心者から脱却できるんじゃないでしょうか。一人前になるにはさらに修業が必要です」

## 険しくとも突き進む「仏師」の道





(公財) 交通遺児育英会  
石橋 健一 会長

いしばし・けんいち 1942年生。北大卒業後、日新製鋼（現日本製鉄）を経て96年、交通遺児育英会。専務理事、理事長等を経て2023年より現職。

年間交通事故死者数「50人以下」を掲げる岡山県。2023年には49人と目標を達成しましたが、昨年は60人と増加に転じ、人口10万人当たりでは3.25人と全国平均の2.14人を上回る水準にあります（警察庁調べ）。事故を防ぎ、交通遺児を一人でも減らすにはどうすればいいのか。交通遺児育英会の石橋健一会長と岡山県交通安全協会の末長範彦会長に、交通安全意識を高めるための取り組みなどについて聞きました。



(一財) 岡山県交通安全協会  
末長 範彦 会長

すえなが・のりひこ 1946年生。トヨタ自動車販売（現トヨタ自動車）から岡山トヨペット社長などを経て、SUENAGA Group代表。2018年より現職。

特別対談

ハンドルの重みは命の重み

安全・快適なはずの車  
凶器にさせぬよう

警察・行政の啓発活動を「草の根」でフォロー

—それぞれの団体が設立された経緯を。

石橋 当会の設立は1969（昭和44）年5月。高度成長期、モータリゼーション（車社会化）が進み、交通事故の被害者が急増した時期です。当時、全国で年間1万6千人を超える方が交通事故で亡くなり、遺族である子どもたちの母親から「せめて子どもを高校には行かせたい」と

—活動内容は。

石橋 大きく分けて5つあります。「奨学金の貸与（一部給付）」「修学支援金給付」「奨学生の指導と育成」「学生寮の運営」「交通安全の推

奨学金以外の支援は。石橋 コロナ禍への緊急支援として20、22年、5回に分けて一人最大60万円を給付しました。学費以外の奨学生の負担を減らすため、東京と関西に地方出身者向けの学生寮「心塾」を設けました。老朽化した東京寮は、より快適な学習環境を整備して昨春に建て替えを完了しました。また賃貸住宅利用者には月1万5千円の家賃補助があるほか、大学院、大学や専門学校の受験費用や自動車運転免許取得費の補助も用意しています。また、毎年開いている交通遺児家庭の交流の場「高校奨学生と保護者のつどい」の懇談会で寄せられた要望に応え、外国語検定試験費用の給付や、浪人生への進学支援金貸与も追加しました。今後も、臨機応変に拡充していきます。

—岡山県では23年、交通事故死者数が前年の74人から49人へ大幅に減りました。統計のある1948年以降、2番目に少ない数字です。何が影響したと考えますか。

末長 法整備や関係機関・団体の働きかけなどによる意識の高まり、また車にも、人間の認知能力を補助する先進技術が次々搭載されています。プラスアルファで、医療の充実や道路整備などが減少につながっているのだと思います。ですが、いまだに交通事故の要因は人間自身のミス。当協会も安全意識を高める活動をしていく必要があります。

石橋 県内の幼稚園や小学校に出向き、交通安全教室を行っています。模擬信号機や自転車を使って、横断歩道の渡り方や自転車の安全な乗り方を指導します。自分で危険を察知し、安全を確保することを子どもが意識付けられていることが大切です。

末長 テレビや新聞などの広告で飲酒運転の危険性を訴えるとともに、酒類を提供する飲食店と連携し、飲み会で酒を飲まない人を決めて運転手を確保する「ハンドルキーパー運動」を展開しています。私自身、自動車販売会社（岡山トヨペット）の会長を務めており、飲酒運転の恐ろしさを伝える独自の啓発動画も作成しました。車という、本来安全・快適な乗り物を「凶器」に変えさせない—そういった意識を常に持っています。

—活動内容は。

石橋 大きく分けて5つあります。「奨学金の貸与（一部給付）」「修学支援金給付」「奨学生の指導と育成」「学生寮の運営」「交通安全の推

奨学金以外の支援は。石橋 コロナ禍への緊急支援として20、22年、5回に分けて一人最大60万円を給付しました。学費以外の奨学生の負担を減らすため、東京と関西に地方出身者向けの学生寮「心塾」を設けました。老朽化した東京寮は、より快適な学習環境を整備して昨春に建て替えを完了しました。また賃貸住宅利用者には月1万5千円の家賃補助があるほか、大学院、大学や専門学校の受験費用や自動車運転免許取得費の補助も用意しています。また、毎年開いている交通遺児家庭の交流の場「高校奨学生と保護者のつどい」の懇談会で寄せられた要望に応え、外国語検定試験費用の給付や、浪人生への進学支援金貸与も追加しました。今後も、臨機応変に拡充していきます。

—交通安全の推進、啓発活動についてはいかがですか。

石橋 11年前、広島の大規模な講演依頼が来たのを機に、学生や保護者にそれぞれの立場で事故防止のため、「散歩する

—岡山県では23年、交通事故死者数が前年の74人から49人へ大幅に減りました。統計のある1948年以降、2番目に少ない数字です。何が影響したと考えますか。

末長 法整備や関係機関・団体の働きかけなどによる意識の高まり、また車にも、人間の認知能力を補助する先進技術が次々搭載されています。プラスアルファで、医療の充実や道路整備などが減少につながっているのだと思います。ですが、いまだに交通事故の要因は人間自身のミス。当協会も安全意識を高める活動をしていく必要があります。

—岡山県では23年、交通事故死者数が前年の74人から49人へ大幅に減りました。統計のある1948年以降、2番目に少ない数字です。何が影響したと考えますか。

末長 法整備や関係機関・団体の働きかけなどによる意識の高まり、また車にも、人間の認知能力を補助する先進技術が次々搭載されています。プラスアルファで、医療の充実や道路整備などが減少につながっているのだと思います。ですが、いまだに交通事故の要因は人間自身のミス。当協会も安全意識を高める活動をしていく必要があります。

石橋 県内の幼稚園や小学校に出向き、交通安全教室を行っています。模擬信号機や自転車を使って、横断歩道の渡り方や自転車の安全な乗り方を指導します。自分で危険を察知し、安全を確保することを子どもが意識付けられていることが大切です。

末長 県内の幼稚園や小学校に出向き、交通安全教室を行っています。模擬信号機や自転車を使って、横断歩道の渡り方や自転車の安全な乗り方を指導します。自分で危険を察知し、安全を確保することを子どもが意識付けられていることが大切です。

石橋 県内の幼稚園や小学校に出向き、交通安全教室を行っています。模擬信号機や自転車を使って、横断歩道の渡り方や自転車の安全な乗り方を指導します。自分で危険を察知し、安全を確保することを子どもが意識付けられていることが大切です。

末長 県内の幼稚園や小学校に出向き、交通安全教室を行っています。模擬信号機や自転車を使って、横断歩道の渡り方や自転車の安全な乗り方を指導します。自分で危険を察知し、安全を確保することを子どもが意識付けられていることが大切です。

石橋 県内の幼稚園や小学校に出向き、交通安全教室を行っています。模擬信号機や自転車を使って、横断歩道の渡り方や自転車の安全な乗り方を指導します。自分で危険を察知し、安全を確保することを子どもが意識付けられていることが大切です。

修学支援と返還負荷軽減 臨機応変に対応



